



[SPIRITUAL]  
**S**

**無料**  
ご自由にお取りください

[PERFORMER]  
**P**



**O.S.Pサイトがリニューアル!!**

おかげさまで10周年

ここでしか見られない  
O.S.P動画も随時更新!!



**Keep it on the down low!!**

—並木敏成が語るあのルアーの真実—  
ハイビッチャーMAX

O.S.Pが誇る三人のスペシャリストが“旬”を説く!  
**三人の賢者はこう釣る!!**  
大塚高志 / 三村和弘 / 植田誠寛

O.S.Pクロニクル  
King of King Spinner Baits  
ハイビッチャー

**O.S.P**

**JOURNAL**

# O.S.P's Go-Getter!!

三宅貴浩=テキスト

file.02

ブリッツ MAX DR & EX-DR

O.S.Pが誇る凄腕プロスタッフが解説する  
“絶対釣果”を確約するルアーの使い方。  
これさえ読めば、今日からアナタもGo-Getter!!



3～4.5mレンジにベイト、バスとも魚影が濃くなる状況であれば年間を通して出番がある。障害物回避性能が高く、ハンクオフもしやすいため、琵琶湖であればウィードトップが上記のレンジ範囲にある状況で使用。リザーバーや河川では一段階、深いレンジの立ち木のカーブランキンや、バンク沿いのハードボトムに最適。またレンジが2m前後のエリアであっても、ボトムノックにおける安定した軌道確保性能から使用する場合も多い。



## BLITZ MAX DR & BLITZ EX-DRとは

大きな特徴は固定重心でありながら、重心移動タイプをはるかに凌ぐ圧倒的な飛距離を確保。ハニカムボディやセミフラットリップなどの効果と合わせて、高い障害物回避性能と停止状態からの泳ぎだしの早さ、そしてハイピッチアクションを実現。EX DRはオリジナルブリッツのボディサイズを採用している。

## 通常リトリブアクション

いわゆるただ巻きアクション。経験上、中層で食ってくることも多いがやはりしっかりとボトムコンタクトすることが最大のキモ。ロッドの角度とラインの太さで泳層をコントロールし、リトリブし続けるアクションでコンスタントにリズムよくボトムノックさせる。リールのハンドルに伝わる感度に集中し、スタックさせすぎないように注意すること。

ディーブランクはバスのレンジを見極め、それに合わせていくことが最も重要。さらにスピードのコントロールやボトムノックなど、食わせのアクセントが釣果アップのコツ。

## ハイピッチボトムノック&ストップ

BLITZ MAX DR&EX-DRのボトムノックにおいて、安定した姿勢制御の性能の高さと、泳ぎ出し姿勢のよさを活用したアクション。リザーバーなどのバンク沿いや河川などでのフラットハードボトムエリアで速巻き&急停止させる。使用するラインごとの基本潜行深度を把握し、その際のMAX深度よりやや浅いレンジで使用すると、ストレスなく的確にしっかりとボトムノック&ステイでバスを誘うことができる。



## ウィードエリアにおけるダイブ&ハンクオフ

琵琶湖などのウィードレイクにおいて、ウィードトップまで一気にダイブさせて、ウィードにコンタクト後、ハンクオフ&浮上アクションでバスを誘う。これは特に、秋から冬期において有効なテクニックだ。ラインの太さとロッドの角度によってしっかりと潜行レンジを定めていくと、よりの確にルアーをコントロールすることができる。

## ウォーミングクラシキング

1～2.5m付近のボトムにおいてテキサスリグを操るように、ゆっくりとボトムをノックしながらアクションさせる。BLITZ MAX DR&EX-DRの、ゆっくりとアクションさせてもしっかりと動いてくれるという性能を最大限に活用するテクニック。とくにゴロタや消波ブロックにおいて効果的。ここでもリールのハンドル感度に集中し、スタックさせすぎないように注意することが大切。

## ドラッキング

ボートからの限定技ではあるが、BLITZ MAX DR&EX-DRのキャストでMAX潜行深度である4m前後よりも深い、5～6m付近のボトムで使用。リトリブのかわりにボートの推進力でルアーを潜行させる。長い距離ルアーを引けることで、6m付近のボトムを確実にノックさせることが可能。リザーバーなどのディーブフラットエリアにベイトが溜まっているような状況で有効。

BLITZ MAX DRとEX-DRの使い分けはズバリ、その場のバスがどちらのサイズに反



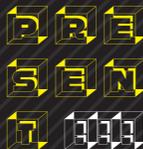
応がいかによるところが大きい。単純に潜行深度もMAX DRのほうがやや上るので深いレンジを探りやすいが、これで反応が得られない場合に、EX-DRにチェンジすると反応が得られることもよくある(この逆もあり)。またEX-DRはMAX DRに比べてアキュラシーに優れるので、リザーバーの立ち木などでのカーブランキンにはEX-DRを使用する。



## MAX DRとEX-DRの使い分け

ロッドとラインを上手に使い分けることで、釣れるバスも確実に増える。基本的にはフロロカーボンラインを使用し、そのポンド数で深度を調整する。またワイヤーをしっかりと切るような状況下では低弾性のカーボンロッドを使用し、吸い込みを重視したいような状況や掛けてからのバスをバラしやすい状況下などではグラスロッドを選択。最近ではグラスとカーボンのコンボジットロッドも多用している。

… 一歩上をいく達人のテクニック:



セットで1名様に!!

O.S.P トートバック (非売品)

O.S.P ダメージキャップ

応募方法\_希望者はメールにて、件名「O.S.P JOURNAL プレゼント係」とし、以下の項目にお答えください。

- このパンフレットをどちらのお店で手にしましたか
- このパンフレットの率直な感想
- このパンフレットに求める情報
- 釣り歴とホームグラウンド
- O.S.Pで好きなルアー

以上5点の回答に加え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、ご応募ください。締切は2014年10月31日。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

info@o-s-p.net

個人情報について\_ご提供いただきました個人情報は厳重に管理し、賞品の抽選、発送および当選者への連絡に使用します。また、提供者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)

毎日更新! O.S.Pのすべてがわかる!!  
O.S.P公式ホームページ

www.o-s-p.net

O.S.P Lurefishing Facebookページ  
http://on.fb.me/1ivloty

並木敏成の知られざる素顔が明らかに...!?  
並木敏成オフィシャルサイト「THIS IS T.NAMIKI」  
http://t-namiki.net/

並木敏成Official Site「THIS IS T.namiki」  
更新情報 Facebookページ

http://on.fb.me/1iE8UiY

**大塚高志** @千葉県・亀山湖

ブリッツMAX DR  
(メタルハス)

**ワカサギの層を直撃!!**



10月の亀山湖に欠かせないルアーは、ブリッツMAX DR!! 秋は巻き物シーズンということで、私が好んで使用しているのがこのルアーなのです。

秋はバスがベイトフィッシュを追う季節。亀山湖の場合は、ワカサギのレンジがキーになります。ブリッツMAX DRは飛距離を出すことで、ルアーをより潜らせて有効なレンジを長く引けます。また根掛かりも少なく、ただ巻いているだけで釣れてしまう。だからこのルアーが、10月の亀山湖における私のメインなのです。

ただそれだけではなく、引き感が軽いことや、速巻きをしったり止めたりすることも可能で、操作性にも優れ、なおかつ固定重心であるためルアーが暴れず、動きだしのレスポンスもGOOD!!

狙う場所はフラットエリアやブレイク周辺をメインに、オダや立ち木などに当たってリアクションで食わせるのが私の好きな釣り方のひとつ。

カラーは朝夕のズメ時には黒金などを使用し、日中はワカサギ系カラー。そして私のフェイバリットは、メタルハス!! なぜ!? だか… 亀山湖でメタルハスがすごく効くんですよ(笑)。



**三村和弘** @奈良県・津風呂湖

エコドライブクローラー4.5in  
(スモークペッパー&コパーフレイク)

**最も信頼できる必須アイテム!!**



こんにちは、“スピナベ馬鹿一代”三村です。10月の津風呂湖って正直、難しいんですよ。日に日にバスはディーブへ落ちていく気がするし、当然、フォールターンもマイナス要因。バイトがあってもショートバイトや離されることが多いのがこのタイミングです。でも絶対に、何が何でも釣りたいんです!! 試合でのことを考えると、3匹獲りたいんです。

そんな津風呂湖でもっとも信頼できるワームが、エコドライブクローラー4.5inです。これをダウンショットで使うのですが、リーダーは長め、50cmくらいに設定します。

カラーはバカイチがO.S.Pに依頼して作ってもらったスモークペッパー&コパーフレイク。とにかく移動距離を短くしたいため、ハチマキ部分のエコマーク「F」に、カン付きマズバリをワッキー刺しします。それでもワーム自体がブルブルを震えバスを誘います。フォーリングさせてみれば、よりドライブクローラーのブルブルアクションが目で見え釣れる気持ちもアップ(笑)。で、どこが釣れるかって? ギルが多いエリアは要注意(←これナイショよ)。



**植田誠寛** @高知県・早明浦湖

ハイピッチャー  
(LBシャッド)

**流れのヨレをトレース**



10月の早明浦湖に欠かせないルアーといえばハイピッチャー!! 10月は台風シーズンが過ぎた後ということもあり、ダムは増水気味のことが多いのですが、そんなときにはカバーにコンタクトでき、引っ掛かりにくく、それでいて広範囲を探れるスピナーベイト、ハイピッチャーがおすすめです。カラーは絶対的にLBシャッド。この色はクリアウォーターでも濁りが入っても使いやすいことがおすすめの理由です。

使い方に関しては、増水のすぐ後ならバックウォーターやインレットの流れのヨレを狙い目。ただ通すだけでなく、冠水したブッシュやレイダウンにコンタクトさせることによって、間違いなくバイトが増えます。

現在、ハイピッチャーには5サイズありますが、ウエイトは3/8ozや1/2ozがキャストしやすいと思います。このことも頭に入れておいてください。早明浦湖はとにかく広いので、ハイピッチャーで広範囲をスピーディに探ってみてください!



「今」最も効果的な釣り。

あなたなら、どうする? どうしてる?

# 釣りに行くための〇〇

全国のお父さんアングラー様。釣りに行きたくても、自由に行くこと、**かないません**よね? それは**釣り業界人**とて同じ。だから釣りに行く前には必ず、**こんなこと**、しているのです……

【 **やっぱり、趣味は趣味のままで……?** 】———— プロスタッフ**ハシタク**さんの場合

バスプロになって早1年半。私の場合、釣りが仕事になってしまったので、リーマンアングラーの時みたいに会社や家庭にケアすることなく好きな時に釣りに行けるようになりました。

ただ圧倒的に長期遠征が多くなり、一度釣りに出動すると1週間は自宅に戻らないということもしばしば。

なので、いち社会人として大事なものを失わないために以下のような準備をしないと、ダメよ〜ダメダメですw

- お風呂道具の準備
- フットサル用具の準備
- 1週間レベルでの衣類の準備
- アニメの長期録画予約

- ドビー(ウーパルバー)や家庭菜園の手入れ
  - 嫁さんへのナイトワーク
- などなど、直接釣りには関係ない準備が多く必要となりました。

変わったのは準備だけでなく、帰宅後の運動不足解消や社会情勢のチェックも必要となりましたね。

どうでしょう、こんな私に憧れてバスフィッシングのプロになってみないかい!? 大好きなバスフィッシングが、好きな時に好きなだけできるようになるよ!

まああれです。「趣味は仕事にしないほうがいい」とはよく言ったものですw



# KEEP IT ON THE DOWN LOW!!

— 並木敏成が語るあのルアーの真実 — このパンフレットを手にした、あなただけが知ることができるあのルアーの真実と、本当の使い方。

待望のレギュラーサイズが登場

[テーマ]

## ハイピッチャーマックス

### ハイピッチャーとタイフーン 二大巨頭の間隙を埋めるMAX登場



今年10月、発売から10年を迎えるハイピッチャーは、年々プレッシャーが高まるフィールドにおいて、ビッグバスを獲るために開発した中小型スピナーベイトだ。いまでは日本を代表するスピナーベイトと言っても過言ではないだろう。O.S.Pではこのほかに、大型スピナーベイトとして、タイフーンもラインナップしている。これはビッグベイトの泣き所であったカバーに対しても、果敢に攻めることができる超攻撃型ビッグベイトとして、多くのアングラーから支持されてきた。そんな二つのスピナーベイトの中間サイズとして、ハイピッチャーマックスをリリースする。世界的に見ても、これがレギュラーサイズのスピナーベイトに当たるだろう。

ハイピッチャーマックスの特徴は、しっかりとしたアピール力や使いやすさを持ちながら、極めて高い食わせ能力も兼ねていることだ。

### さまざまなこだわりを随所に まずはブレードに注目してほしい

スピナーベイトの核ともいえるブレード。ハイピッチャーマックスではダブルウィローとタンデムウィローの2タイプがある。こだわったのはタイプを問わず、超スローに引いてもブレードが回転していることがロッドティップに明確に伝わるバイブレーション感。これによって引いている最中、例えばウィードの切れ端や水中のゴミを拾ったとき、わずかな違和感を手に取るように感じることができる。そんなとき、ロッドをすぐさまおろしてゴミを外したり、もしくは即回収することでその一投を無駄にせずに済む。

また、ハイスピードのリトリートでもバランスを崩すことなくしっかり泳ぎ、ルアー自体が震えることで適度なバイブレーション感を生むだけでなく、超スローロールでは最後までブレードを回す。

またブレードの回転によってバイブレーションはタイト、かつハイピッチでアームを揺らし、この振動がヘッドやスカートまで伝わる。しかし引いているときの抵抗は重すぎず、軽すぎないことも、このブレードがもたらすメリットだ。

ちなみにブレードのサイズについて、3/8ozと1/2oz、5/8ozと3/4ozでそれぞれ同じサイズの組み合わせを採用している。例えば3/8ozと1/2ozのダブルウィローはフロントが#3.3、リアが#4.0。これに対して5/8ozと3/4ozはフロントが#3.8、リアが#4.5というサイズ。注目してほしいのは、#3.3や#3.8という既存のブレードにはないサイズを作り出したこと。既存サイズにこだわらず、独自のサイズを作り出したことで、ベストなセッティングを見出すことに成功したのだ(タンデムは3/8ozと1/2ozがフロント#3.0、リア#4.0。5/8ozと3/4ozにはフロント#3.5、リア#4.5を搭載している)。

### 見た目とすり抜けを重視したヘッド スカートも確実にバスを呼ぶ

ヘッドは低重心ながらすり抜けを重視した形状を採用。カバーに入れてもストレスを感じることなく引いてくれるよう設計した。またベイトフィッシュをイミテートしており、リアルさにもこだわっている。

さらにスカート。ラバーをタイピングしたとき、通常はタイピングポイントを起点に前方と後方にスカートが出るのだが、ハイピッチャーマックスでは後方側のラバーをすべてカット。これによって引いてきたときに、スカート同士、またはフックとスカートが干渉することなく、ラバーの一本一本が、実に艶めかしい動きする。またこのカットは、飛距離に関してもひと役買っている。キャスト時に進行方向に逆立つ後方のスカートが受ける空気抵抗は意外と大きく、これが飛距離を伸ばす妨げになっていた。しかしここをカットすることで抵抗が減り、飛距離の大幅アップに成功したのだ。

そしてスカートの量。上側と比べると下側のほうがラバーが多い。これはスイミング時にやや斜め上方姿勢になる中で、スカートのボリュームが均等になるための配慮。もともと均等に巻いていると、斜め上方を向く姿勢で泳いだとき、どうしても上側のスカートが下がるため、密度に変化が生じてしまう。したがってスイミング時にバランスが取れたボリューム感が出るよう、上側と下側でラバーの量を変えている。これにより、ベイトフィッシュのリアルなボリューム感も表現している。

また8本の長いスカートもライブリーなアクションに拍車をかけるだけでなく、トレーラーフックをセットしたとき、その存在を隠す、という役割を担っている。

### サイズに合わせてワイヤーの 線径を変えなくてはならない理由

よく回転するブレードがあっても、ワイヤーが細すぎたり、逆に太すぎても、そこで生まれた振動を伝えることができない。また細すぎるワイヤーはスナッグレス性に欠けるうえ、フッキングが決まりにくい。何より、キャストを繰り返しているだけで破損する、というデメリットも。ハイピッチャーマックスでは3/8ozのみ0.8mmのワイヤー。それ以外の3サイズ(1/2oz・5/8oz・3/4oz)には0.9mmの線径を採用している。これは耐久性を第一に考えてのこと。加えてガード性能と、フッキングパワーを確実に伝えるだけの強度など、これらすべてを高次元で兼ね備える、ベストな選択がなされているのだ。カバーにスタックすることなく引いてくることができ、なおかつ、振動をしっかりと伝える。決して弱すぎず、強すぎない。それがハイピッチャーマックスに求めたワイヤーなのだ。

### フラッシングと線の攻め バイブレーションと点の攻め



次にブレードタイプの使い分けについて、解説しよう。冒頭でも説明したが、ハイピッチャーマックスではダブルウィローとタンデムウィローの2タイプを揃えている。明確なフラッシングでバスを誘うのがダブルウィロー。こちらは長い距離、線で引いてくる釣りに向いていて、広大なウィードエリアをストレートリトリートで手早く探っていくときなどは、迷わずダブルウィローを選んでほしい。タンデムウィローはバイブレーションが強く、マッドウォーターなどでバスの側線に強くアピールする。またダブルウィローの「線の攻め」に対して、フロントブレードの回り出し(立ち上がり)が早いため、こちらは「点の攻め」を得意とする。アシ際やブッシュの際を釣っていくには欠かせない存在だ。さらにレンジ変化、例えばディープでのリフト&フォールや、スローロールで深いレンジに落とし込んでいく。そんなテクニックにも向いている。

攻める場所と、水の色、そしてバスのコンディションに合わせて、ダブルウィローとタンデムウィローを使い分けてほしい。

### レンジと巻きスピードによって 全4ウエイトを使い分ける

ハイピッチャーマックスには3/8oz、1/2oz、5/8oz、そして3/4ozと全4ウエイトをラインナップしている。まず3/8ozモデル。これはシャローでの使用がメイン。引いているときのバイブレーションが最も強く感じられるのも特徴だ。次に1/2ozだが、これはシャローから水深2mぐらいまでのレンジで使用。この3/8ozと1/2ozは先にも説明したが、リアブレードに#4サイズのウィローリーフを採用している。それに対して5/8ozおよび3/4ozは#4.5



ブレードを搭載。ディープウォーターや、クリアウォーターでの出番が多いウエイトゆえ、前述の2ウエイトよりもややタイトなバイブレーションを生むように設計してある。ちなみに5/8ozや3/4ozはシャローを速巻きで使うこともあるが、スローロールにおいては5/8ozなら3~3.5m、3/4ozでは4m以深のレンジをトレースする。



ビーズの色分けによって、ウエイトが目瞭然。ハイピッチャーで採用していたシステムを、ハイピッチャーマックスでも用いた

### アクショントレーラーを使えば スピナーベイトに死角なし



スピナーベイトにおいて、基本的にはトレーラーフックをつけて使用することが多い。これによって約30%増でバスをキャッチできるようになる。いま、使用しているのはFINAで開発中のモデル。サイズは通常、2/0~1/0を使うのだが#1のような小さめのサイズを使うと、ヘビーカバーの中に叩き込んで引く掛かるリスクが大幅に減る。

次にトレーラーワームだが、これは必要に応じてつけたり、つけなかったりしている。では、どんなときに必要なのか。例えばアピール力をアップさせたいときや、一定のレンジをよりゆっくり引きたいとき、そしてオーバーハングの下にスキッピングさせたいときなど、理由はさまざま。トレーラーワームをセットすることで、攻め幅が大きく広がることは間違いないだろう。

ちなみに、トレーラーワームとして自分がセットするのはアクショントレーラー。ノンソルトで耐久性があり、かつフックに刺しっぱなしでもサビる心配がない。また、浮力をおさえたいときはセンターの2本の足は残し、外側左右のツメをカットしたり、ワームなしで使いたいのだがスキッピングの必要があるときはボディのみにしてセットするなど、状況に応じてアレンジが可能であることも、追記しておこう。

夏が終わり、いよいよ巻き物の秋が到来。クランクベイトやスピナーベイトの釣りが、非常におもしろいシーズンになってきた。ぜひみなさんもこの秋、O.S.Pが誇る3タイプのスピナーベイトを使い分けて、巻き物の釣りを堪能いただきたい。



参考動画

琵琶湖プロガイド森田哲広によるハイピッチャーマックスの実釣&解説映像を公開!!

<http://youtu.be/R27fHH8of0s>

並木敏成による早明浦ダムでの実釣&解説動画も近日公開!!

# O.S.P クロニクル

開発担当が語る、あのルアーの秘密。

## 妥協を許さず生み出した納得のブレード

今回ご紹介するハイピッチャーも、ブリッツに続き、今年で生誕10周年を迎える。開発に着手したのは2002年10月。その当時、HPFクランクを手掛けていたのだが、このルアーにはハニカムボディやHPスラッシュビルなど、これまでにない斬新な技術を採用。また、2001年にリリースしたゼロワンバズも、こすれ音にこだわって開発。では、スピナーベイトにおいては、何ができるのか。そして他社製品にどう差をつけるのか。これがハイピッチャーの前に立ちちはだかった、第一の関門であった。「例えばワイヤーに関して、当時はチタンや形状記憶素材が注目されはじめたところで、そういったものを取り入れるのか。また、ブレードは真鍮が一般的な中で、それ以外のもので作るのかなど、製造側との相談で吟味していくという時間が非常に長かった。しかしその中で、『自分が使うなら』というところに立ち返ってみたのです」。

最新の素材を使うメリットとデメリットはどれほどあるのか。そしてそれは、コストに跳ね返ってくる。誰でも買えるプライスで、場所を選ばず使えて、数もサイズも

釣れる。これらすべてを切り捨てることがない製品にしたい、という想いを具現化したのが、ハイピッチャーなのである。

まずは3/8ozの開発からスタート。ヘッドやフック、ワイヤーは比較的スムーズに進んだものの、ブレードの形状については、一筋縄ではいかなかった。3/8ozモデルのリアに搭載した#3.5のウィロー。これが曲車で実に7回もの修正を重ねた。

「最初に上がってきたのはよかったんですけど、点数をつけると85点ぐらい。そこから修正を重ねるごとにようになっていくと思っていたのですが、次に上がってきたのは30点ぐらいで『なんだこれ!』と驚いたのを今でも覚えています。ホントに微妙な形状の変化で、85点が30点になる。1回の修正で1ヵ月。これが発売を大きく遅らせることになった要因でした」。

本来、2004年の春にリリースする予定だったが、実際に市場投入されたのはその秋。実に半年以上の遅れの原因となったのはブレードにあった。途中、「物理的な限界」と自分を納得させてリリースすることもできたのだが、決してそうはしなかった。

前号でご紹介したブリッツと同じくハイピッチャーも今年で10周年を迎える。開発担当は当時を振り返る。このルアーこそがO.S.Pにとってのターニングポイントだった、と……

「もし、そこでリリースしていたら、10年という具体的な数字はなかったものの、ここまで長く使い続けられるスピナーベイトにはならなかったと思います。最初は売れても、2〜3年で止まり、それを補填するために次の製品も、十分な開発期間がないままリリースする。そんな悪循環の根源にしたくなかったから、納得できるまでGOは出さない。そう思ってやり遂げました」。

もうひとつ、ハイピッチャーを語るうえで忘れてはならないのが、共通パーツコンセプトだ。サイズ（ウエイト）が変わってもパーツは極力同じものを使う。これによってどのサイズを使っても、同じ使用感を得ることができる。これもまた、他に類を見ないこだわりのコンセプト。サイズ違いであっても、決して妥協しない。だからこそ5サイズ揃うのに4年の歳月を要した。

ハイピッチャーこそがO.S.Pのターニングポイントだったと、開発担当は振り返る。「あのとき、ブレードの開発を途中でやめてリリースしなくてよかったと、今でも思っています。自分の中では間違いなく、ハイピッチャーがO.S.Pの分岐点でした……」。

## 2014年10月の新商品情報

# THE FLASH NEWS!!

HPシャッドテール2.5inはただ巻きとシェイクのコンビを両立を前提にさまざまなリグに対応できる小型シャッドテール系ワームとして開発。このサイズのシャッドテールワームに不足しがちなボディ全体を使ったバワフルな振動と水押しをスローからファーストまで、リトリーブスピードを問わず生み出せる。この特徴はノーシンカーやジグヘッドのただ巻きはもちろんダウンショットやネコリグ、キャロライナリグ、そしてスモラバのトレーラーにおいても発揮。また、04シンク口の1.2gという最軽量クラスのウエイトでも、フリーフォールで確実にテールを振る。ネコリグにおいては0.3gシンカーでもテールを振り、2.2gの大型シンカーもインサートできる。High PerformanceとHigh Pitch。この頭文字をとったHPシャッドテール。年々IQのレベルを上げていくクレーバなバスも、確実に食わせられる……

## 究極のハイパフォーマンスを体現するシャッドテール



## HP Shadtail 2.5"

HPシャッドテール 2.5in

Length 2.5in

Price 770円(税抜き)

